

## 公園の現状と問題点

---

# 本市における都市公園の状況

## ◇都市公園とは

都市公園とは、人々のレクリエーションの空間、良好な都市環境の形成、都市環境の改善、都市の防災性の向上、生物多様性の確保、豊かな地域づくりに資するなどを目的として、都市に整備されるもの。福山市内には、714箇所が整備されている。

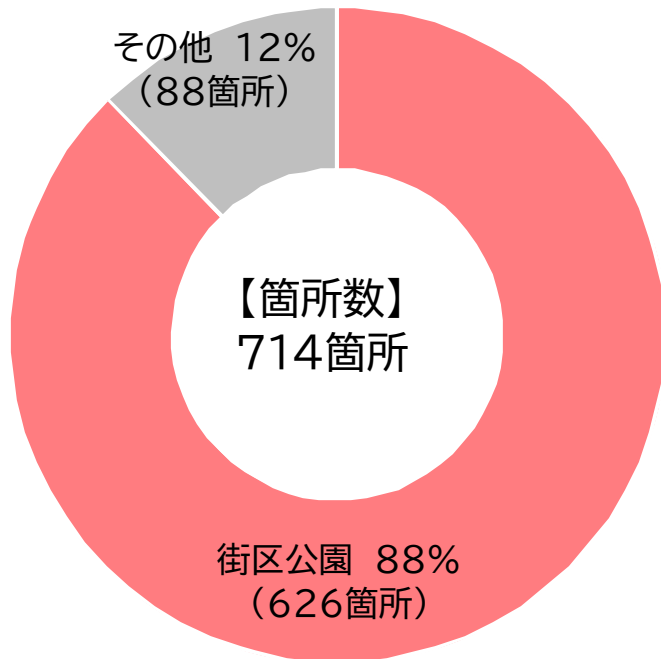
### (1)公園の種別

種類	種別	箇所数	概要	公園の例	
基幹公園	住区 基幹公園	①街区公園	626	街区に居住する方の利用を目的とする公園(誘致距離250m)	地域の身近な公園
		②近隣公園	20	近隣に居住する方の利用を目的とする公園(誘致距離500m)	ばら公園, 総合体育館公園など
		③地区公園	3	主として徒歩圏内に居住する方の利用を目的とする公園(誘致距離1km)	福山メモリアルパーク, 吉野山公園など
	都市 基幹公園	④総合公園	5	市民全般の利用を目的とする公園	春日池公園, 緑町公園, 福山城公園など
		⑤運動公園	2	市民全般の主として運動利用を目的とする公園	竹ヶ端運動公園, 大佐山運動公園
	⑥特殊公園	7	動植物公園など目的や立地が制限される公園	ファミリーパーク, 富谷公園など	
	⑦広場公園	1	市街地の中心部において, 都市景観の向上に資することを目的とする公園	入船交流広場	
	⑧都市緑地	50	自然的環境の保全、都市の景観の向上を図るため設けられた緑地	かわまち広場など	

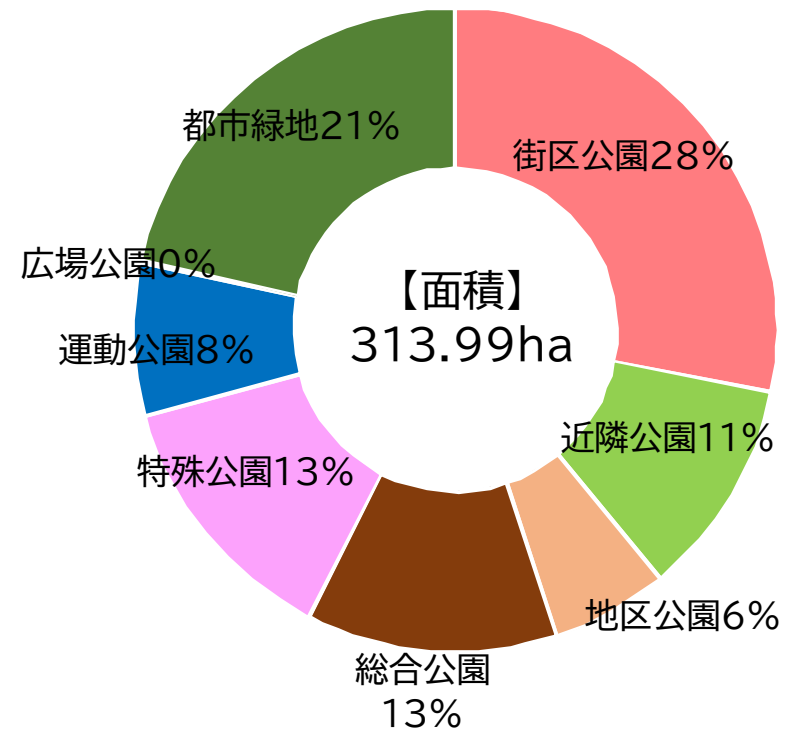
# 都市公園の箇所数及び面積

- ・公園の全体数に対して、街区公園が約88%を占めている。
- ・公園の全面積に対して、街区公園が28%、次いで都市緑地21%、 総合公園13%の順

公園の箇所数

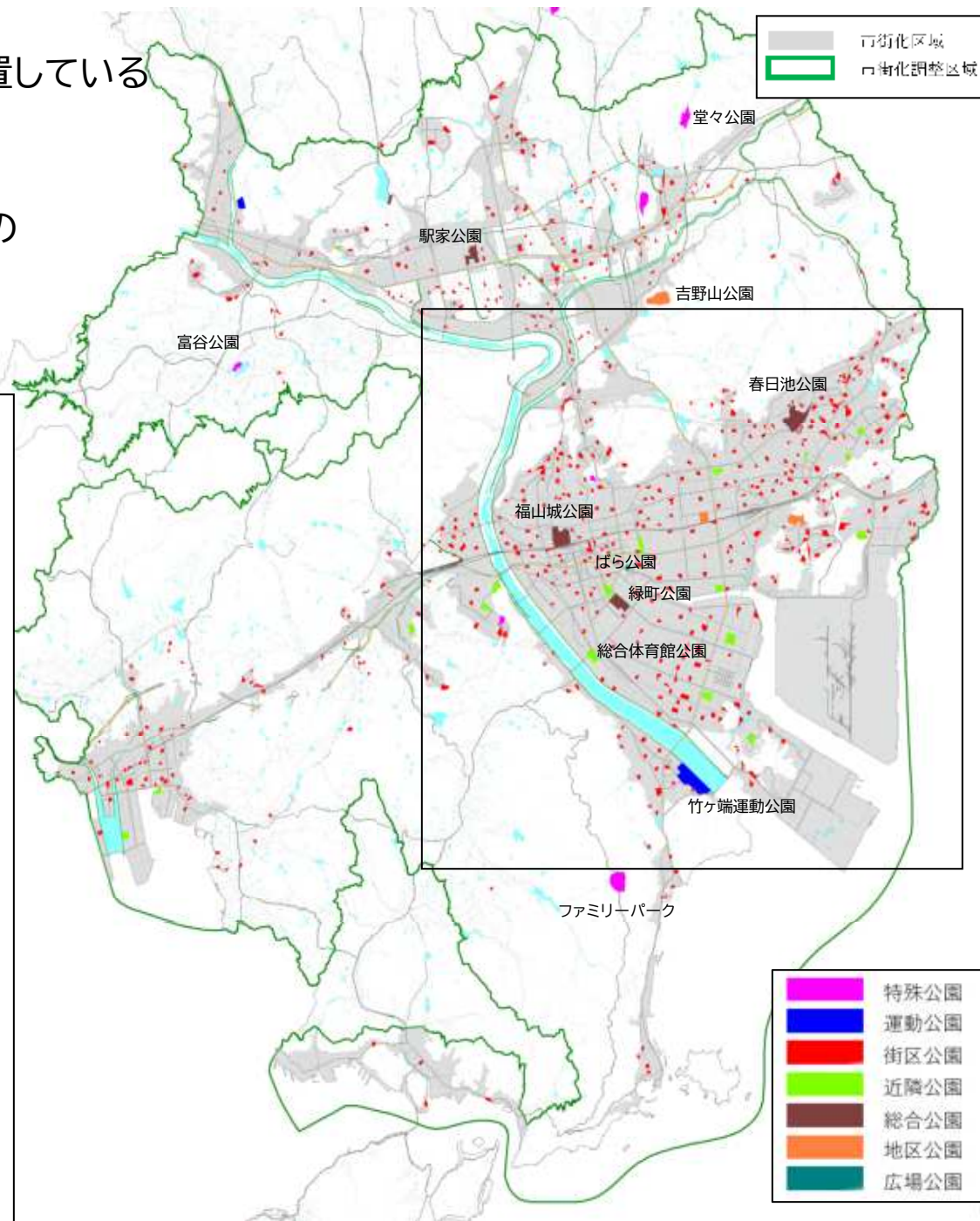
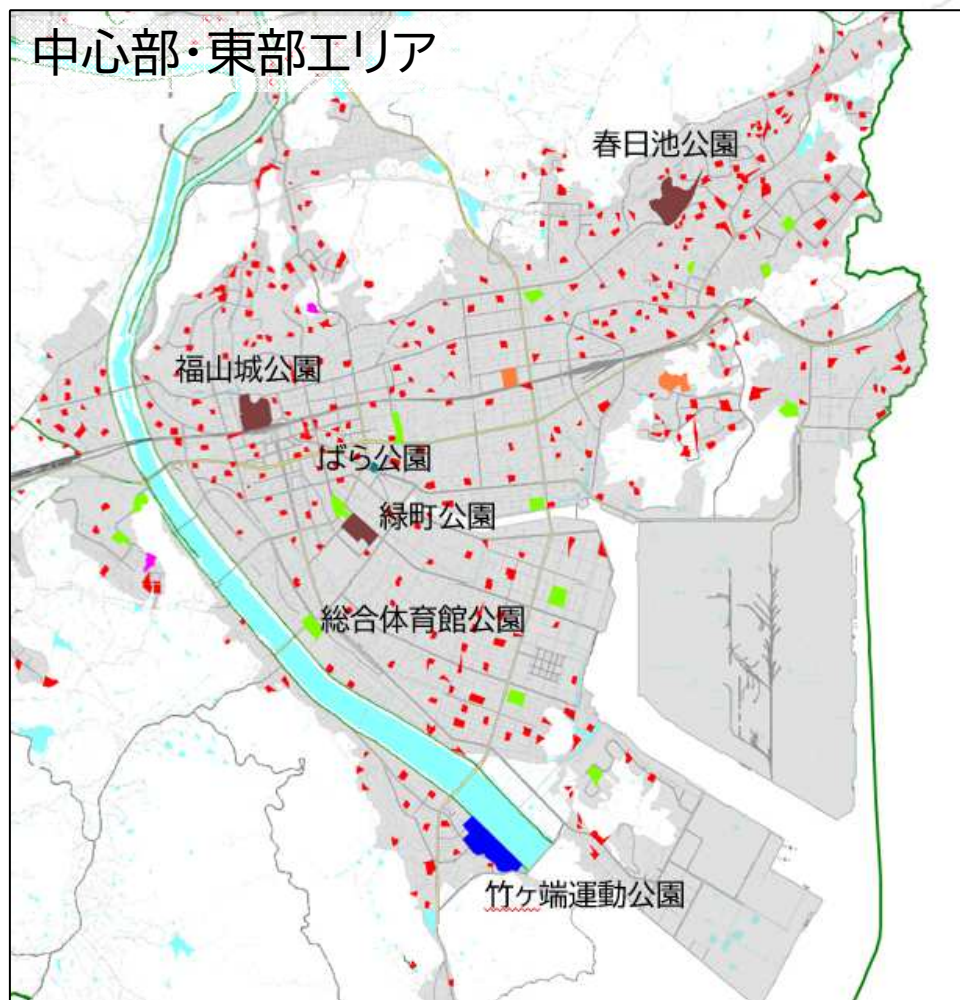


公園の面積



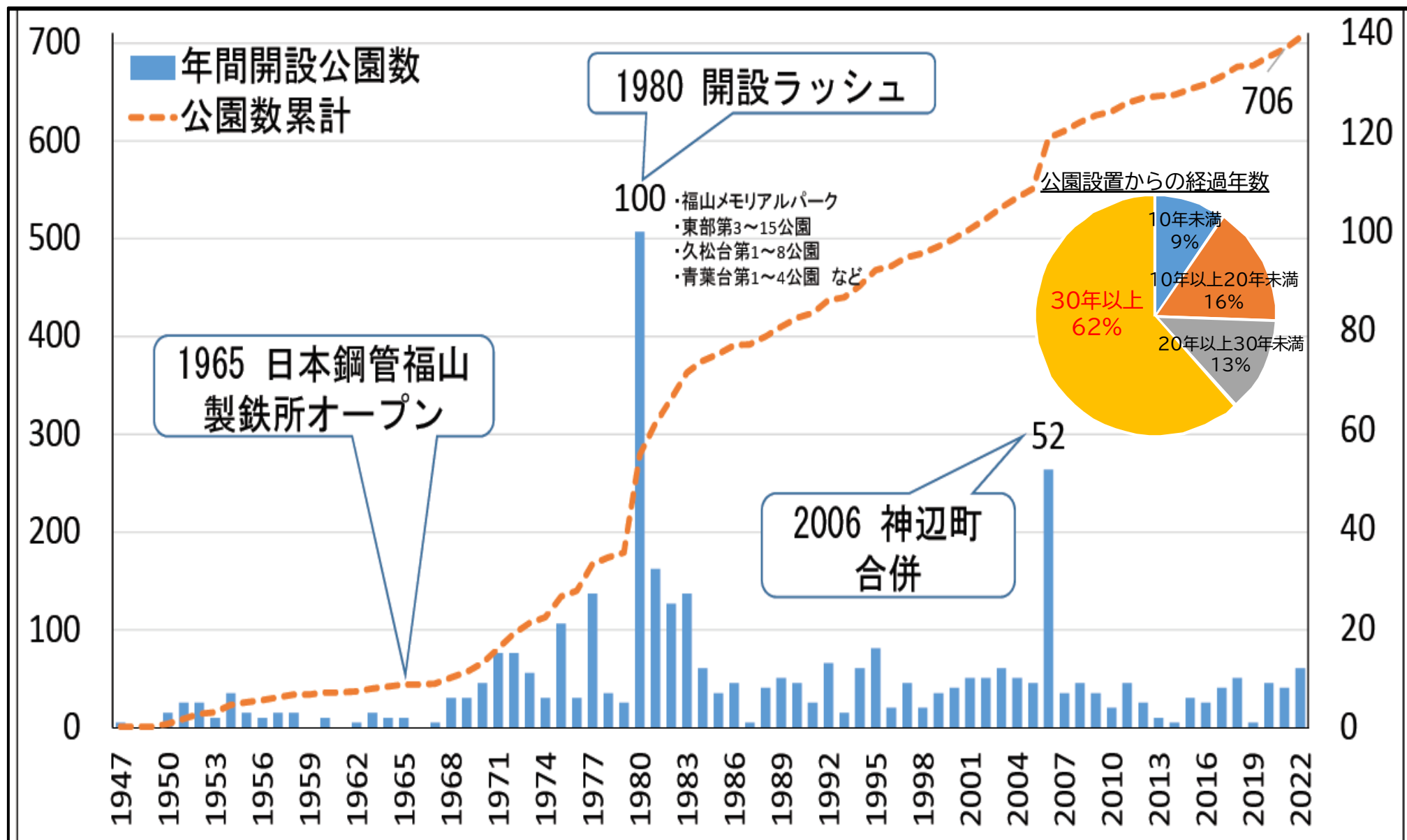
# 公園の配置状況

- ・市街化区域内において、583公園、約76%が位置している  
(市街化区域は、福山市の面積の約19%)
- ・特に中心部、東部地域において公園が多い。
- ・西部地域には特殊公園・運動公園・総合公園などの大きな公園がない。



# 公園の整備時期

- ・1980年, 区画整理事業が完了の時期に伴い, 開設ラッシュで公園数が極端に増加した。
- ・その後の2006年は, 神辺町合併に伴い公園数が大幅に増加した。





# 街区公園の特徴

① 街区公園 街区に居住する方の利用を目的とする公園(誘致距離250m)

公園数:626箇所 総面積:88.3ha

【公園例】 身近にある小さな公園で、主として単体遊具が整備されている。





# 近隣公園の特徴

## ② 近隣公園 近隣に居住する方の利用を目的とする公園(誘致距離500m)

公園数:20箇所 総面積:32.8ha

### 総合体育館公園 (2.0ha)



総合体育館公園は、福山競馬所跡地の利活用基本コンセプト「水と緑に包まれた健やか・未来ふくやま創造交流拠点」に基づき、誰もが自由に集い・憩い・活動でき、健やかで心豊かに過ごせる、まちづくりのシンボルとなる場を創造する公園です。

広大な芝生広場は、日常的な交流の場としての利用のみならず、隣接する総合体育館のスポーツ関連イベントや災害時の避難場所としても活用できます。

同時に芦田川緑地かわまち広場を整備し、一体的に市民の憩いの場として利用されています。

2016年度 測量・実施設計

2017年度～2020年度 公園整備・完成

### ばら公園 (1.2ha)



写真:ゲーグルマップより

写真:観光課

ばら公園は、市街地の南東部、国道2号線の南約500mの所に位置しています。

形状は道路に三方を囲まれたほぼ三角形で、ばらの植栽を中心に構成された公園で「ばらのまち福山」のシンボリック存在です。

ばらは約280品種・約5500本が植えられています。

「第20回世界バラ会議福山大会2025」

(2025年5月開催)

に向けて、2022年度より、整備事業を進めています。





# 地区公園の特徴

③ 地区公園 主として徒歩圏内に居住する方の利用を目的とする公園(誘致距離1km)

公園数:3箇所 総面積:18.4ha

## 福山メモリアルパーク (1.8ha)



ピクニック広場、花と樹の広場、遊具広場、プール広場などがあり、動と静を基調とした施設が有機的に結合したロマンとバラエティーに富んだ都市公園です。



## 吉野山公園 (11.9ha)



吉野山公園は、神辺町南部に位置し、黄葉山山頂にある神辺城跡を利用した歴史的・文化的環境に恵まれた地区公園であり、園内には遊具施設が設けられています。

神辺城の跡地ということもあり、山頂からの眺めは、ほぼ町内全域を見渡すことができます。

また、桜やあじさいの名所であり、市外からも多くの人を訪れています。



# 総合公園の特徴

④総合公園 市民全般の利用を目的とする公園 公園数:5箇所 総面積:39.7ha

## 緑町公園 (8.0ha)



緑町公園は、市街地中心部に位置し、福山市のシンボリックな公園としてイベント等の利用に供する施設とともに、「市民の集う森」として市民の日常生活にうるおいを与える総合公園として、また、都市防災拠点としての防災公園として位置づけられています。

「第20回世界バラ会議福山大会2025」（2025年5月開催）に向けて、2022年度より、ばらの植床改良や植替えなどの整備事業を進めています。

## 春日池公園 (15.6ha)



春日池公園は、東部の住宅地に位置する広大な公園であり、四季折々の花木を配し、水と緑が調和する魅力ある公園として、市民に親しまれています。

来年3月には、本市初となる本格的なインクルーシブ遊具を整備を予定しています。





# 運動公園の特徴

## ⑤ 運動公園 市民全般の主として運動利用を目的とする公園

公園数:2箇所 総面積:39.7ha

### 竹ヶ端運動公園 (16.3ha)



写真: 福山市スポーツ協会より

竹ヶ端運動公園は、芦田川の河口付近の西側に位置し本市の総合的な運動公園です。陸上競技場(福山通運ローズスタジアム)、運動広場、野球場(エブリィ福山市民球場)、弓道場、水上スポーツセンター、庭球場が整備されています。

現在、庭球場を再整備中、2025年度全国高等学校総合体育大会(インターハイ)中国ブロック・テニス大会の会場となっています。



写真: 中国新聞オンラインより



写真: 中国新聞オンラインより  
「ももクロ・サブライズランナーとして参加」

### 大佐山運動公園 (7.8ha)



写真: 公園利用者ブログより

大佐山運動公園は、福山市役所新市支所の東側、神谷川を渡った大佐山の麓に位置する。新市支所から運動公園まで約2km, 車で約5分, 徒歩で約30分。野球場, 管理棟, バックネット, 便所, スコアボード, 電光カウント表示板, 夜間照明設備, 駐車場、テニスコートが整備されています。

# 特殊公園の特徴

## ⑥ 特殊公園 動植物公園など目的や立地が制限される公園

公園数: 7箇所 総面積: 41.2ha

### ファミリーパーク (12.0ha)



ファミリーパークは、熊ヶ峰連山を通る県道後山公園洗谷線沿い、標高約350mのところにあり、自然環境に恵まれた公園で、風致公園に位置付けられています。

### 富谷公園 (1.5ha)



富谷公園は、福山市の北部芦田町内に存し、福山市立動物園に隣接する立地と、大型複合遊具の整備により、子育て世代に大変人気のある公園です。



# 広場公園の特徴

- ⑦ 広場公園 市街地の中心部において、都市景観の向上に資することを目的とする公園  
公園数:1箇所 総面積:0.35ha

## 入船交流広場(0.35ha)



入船交流広場は、階段ステージ(人工地盤階段と兼用工作物)、広場モニュメント、便所、照明、植栽、パーゴラ、ベンチ、水飲み、広告塔、エレベーターが整備されている。

内港地区のシンボルとして、デザイン上も入り江のイメージをモチーフに取り上げ、リーデンローズ、人工地盤とともに都市景観をリードする新しい都市空間をヨットの帆型のモニュメント、渚イメージの舗装、カモメ型の照明灯で創造している





# 都市緑地の特徴

⑧ 都市緑地 自然的環境の保全、都市の景観の向上を図るため設けられた緑地

公園数:50箇所 総面積:67.7ha

芦田川緑地かわまち広場 (2.1ha)



芦田川緑地かわまち広場は、芦田川緑地を一部廃止し、新たに芦田川緑地かわまち広場として整備するものであり、隣接する福山市競馬場跡地の総合体育館（スポーツ振興課）及び総合体育館公園（公園緑地課）を連絡橋で結び、一体的な利活用を図っています。

2018(H30)年、国の「かわまちづくり」支援制度の事業認定から2020年度に整備、新たに芝生広場やスケートボードパーク、バーベキューテラスや自転車歩行者用通路等を整備するほか、河川管理施設として、ボート等が接岸できる親水護岸やイベント時に観覧席となる階段護岸等の整備を行いました。

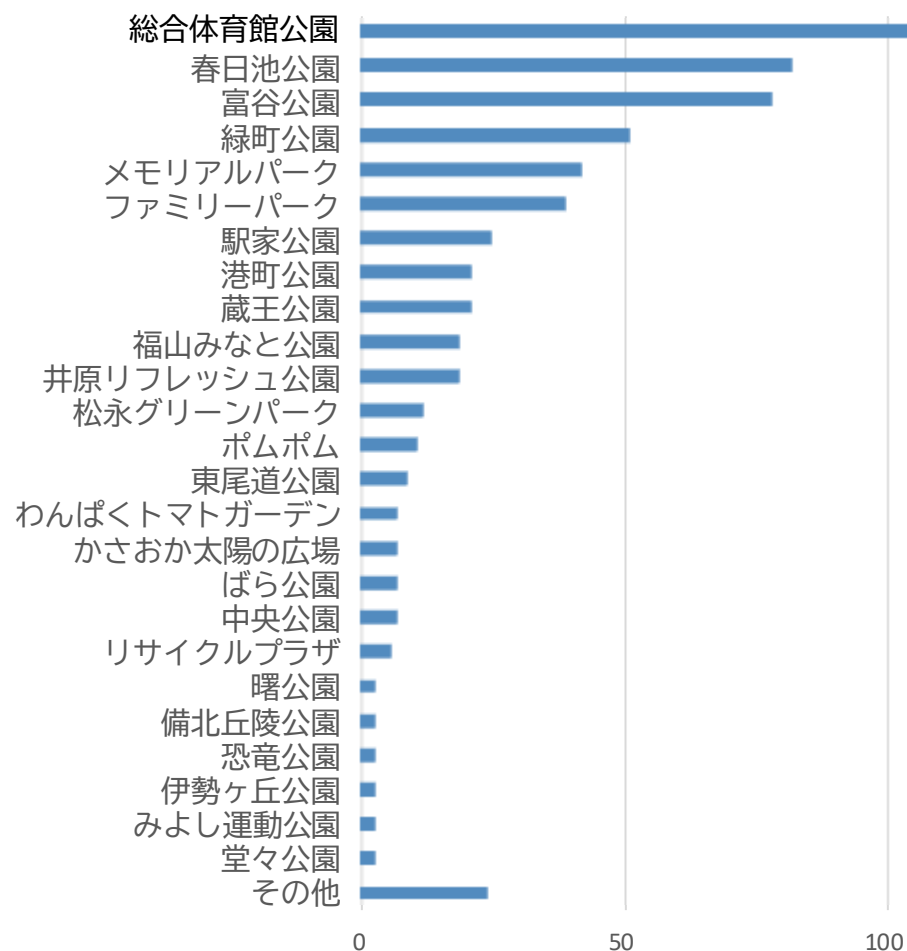
広場において、ネーミングライツ（3社）を実施しています。



# 公園の利用状況(R4年度 公園利用者アンケートより)

- ・上位を占めているのは大型複合遊具や駐車場が整備された大きな公園
- ・「総合体育館公園」は飛びぬけて人気がある

## 「よく利用する公園について」



### アンケート調査内容

(1)アンケート調査の概要。  
インクルーシブ遊具の整備のため、公園遊具等のニーズについてアンケート調査を実施。

(2)調査の設計。  
・調査対象： -市内在住の小学生以下の子どもの世帯。  
-障がいのある小学生以下の子どもの世帯。  
-65歳以上の方。  
・調査方法： 郵送。  
・調査機関： 2022年(令和4年)9月5日(月)～9月22日(金)。  
・抽出方法： 調査対象者を無作為に抽出。

(3)アンケート数及び回収率。

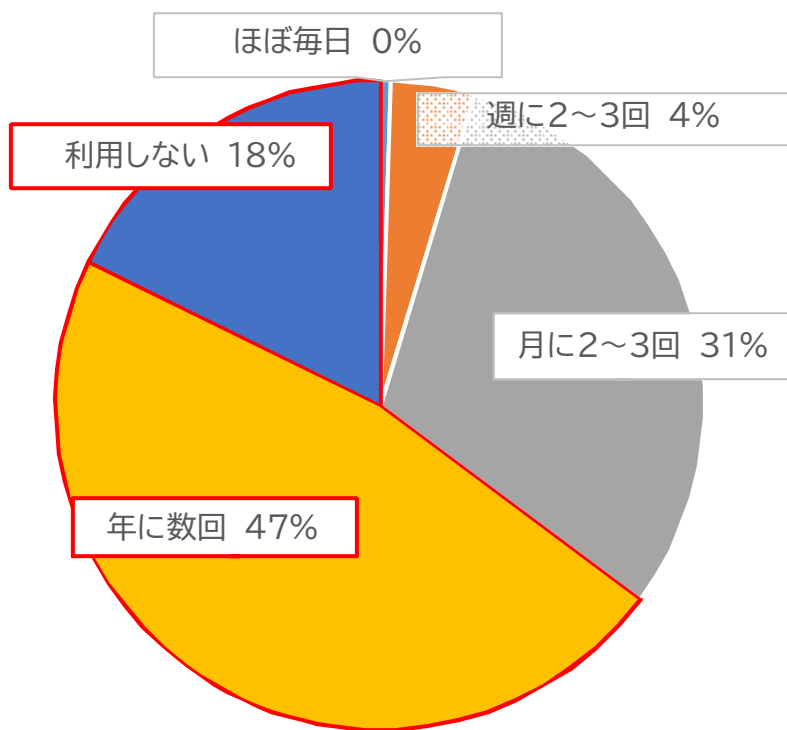
対象	配布数	回収数	回収率(%)
小学生以下の子どもの世帯	800	381	47.6
障がいのある小学生以下の子どもの世帯	800	386	48.3
65歳以上の方	400	220	55.0
合計	2000	987	49.4



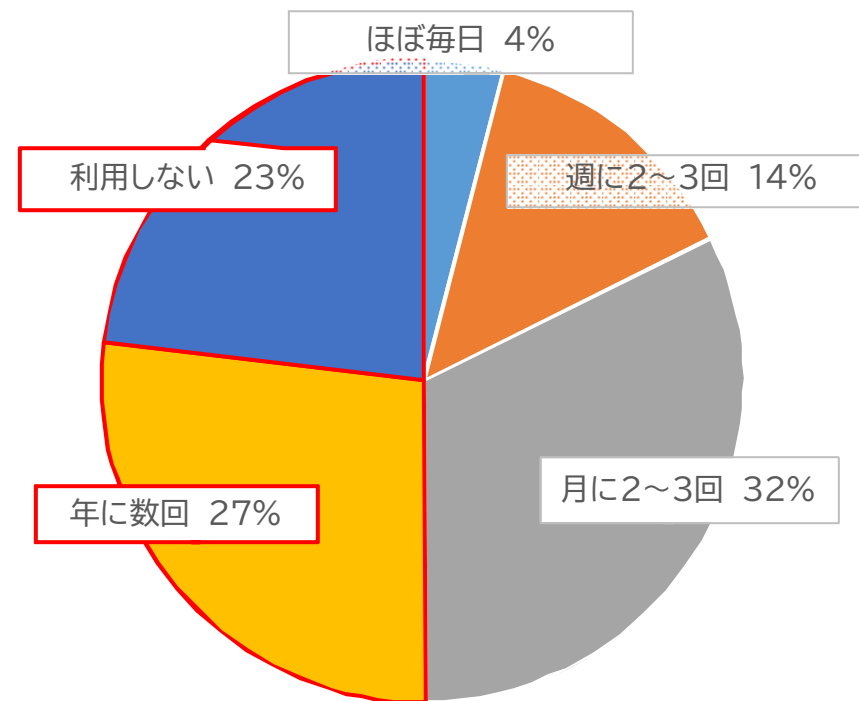
# 公園の利用頻度 (R4年度 公園利用者アンケートより)

- ・「大きな公園」において回答者の約65%が「年に数回」「利用しない」と回答
- ・「小さな公園」において回答者の約50%が「年に数回」「利用しない」と回答

大きな公園の利用頻度



小さな公園の利用頻度

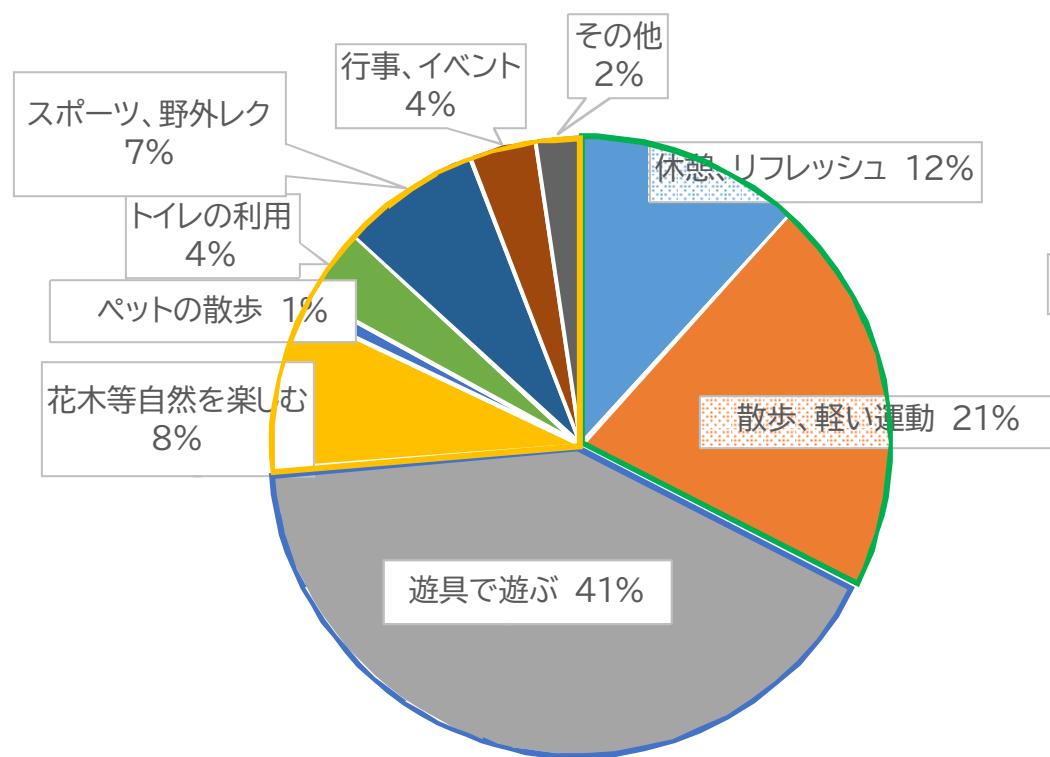


# 公園の利用目的 (R4年度 公園利用者アンケートより)

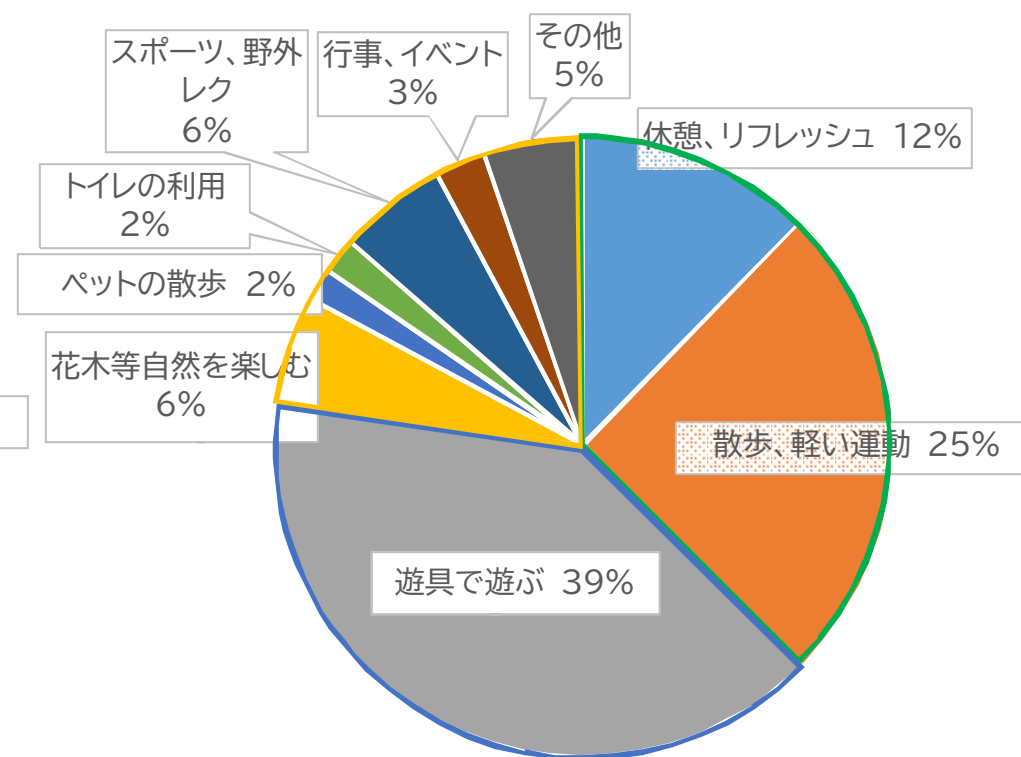
・「大きな公園」において、回答者の41%が「遊具で遊ぶ」、21%が「散歩、軽い運動」、12%が「休憩、リフレッシュ」以下、「草木等自然を楽しむ」、「スポーツ、野外レク」

・「小さな公園」において、回答者の39%が「遊具で遊ぶ」、25%が「散歩、軽い運動」、12%が「休憩、リフレッシュ」以下、「草木等自然を楽しむ」、「スポーツ、野外レク」

大きな公園の利用目的

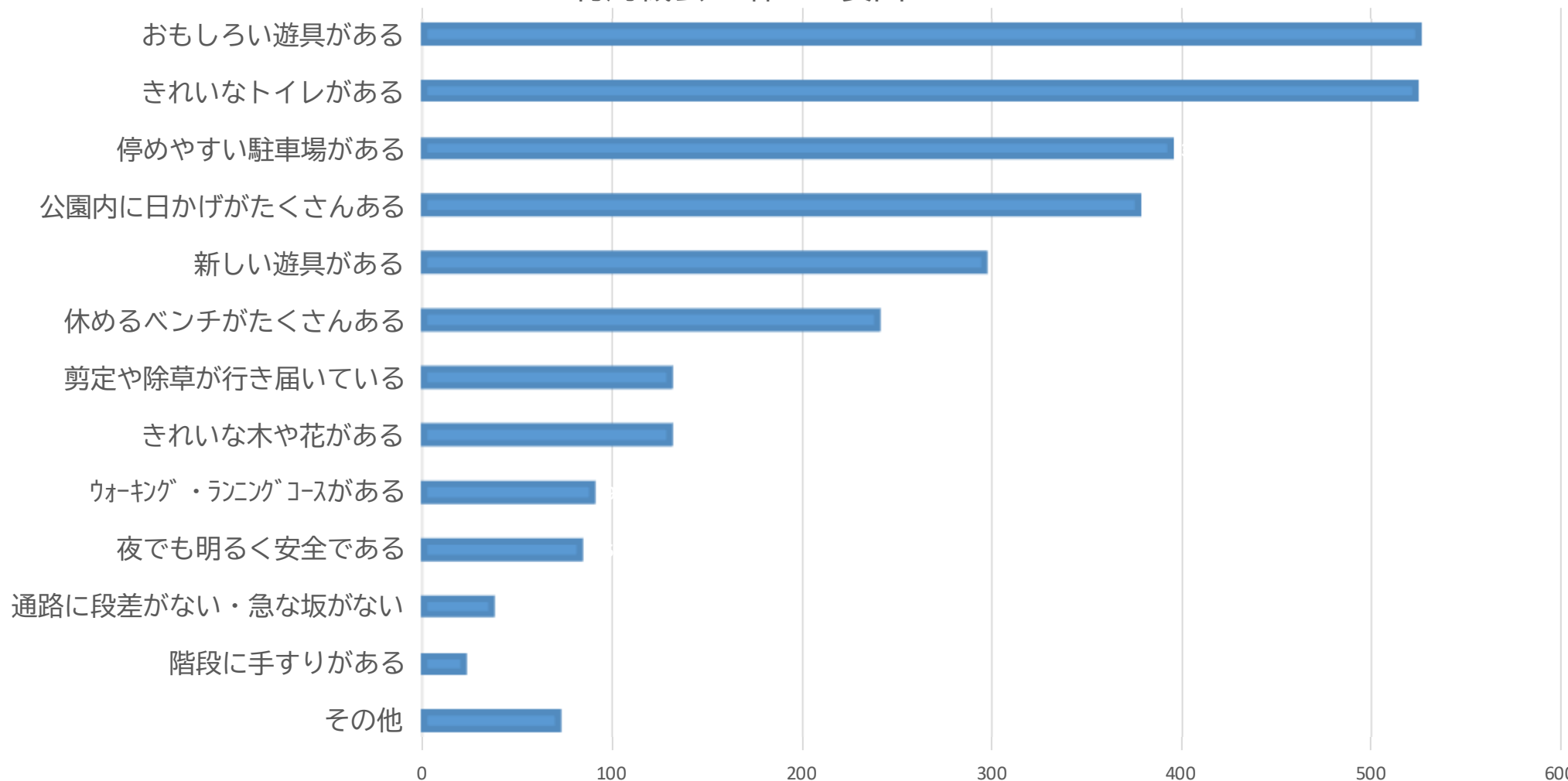


小さな公園の利用目的



- ・「おもしろい遊具がある」「きれいなトイレ」「停めやすい駐車場」「たくさんの日陰」「新しい遊具」が上位を占めている

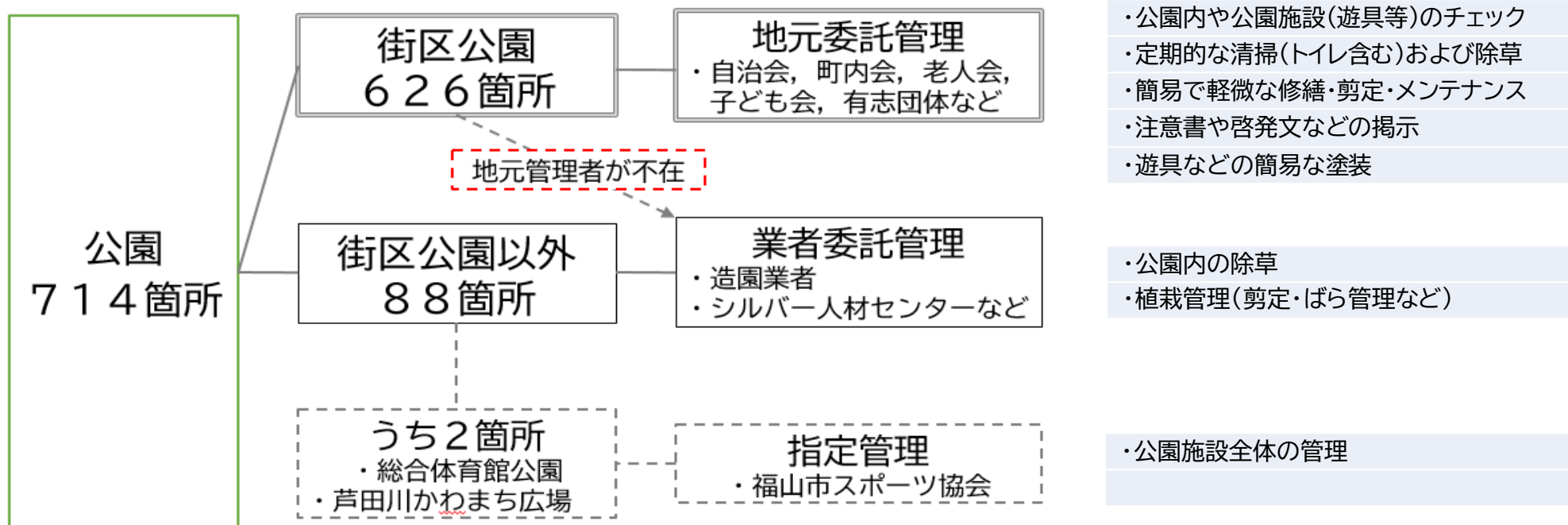
利用機会が増える要因





# 公園の維持管理状況

- ・街区公園(全体数の88%)は概ね地元へ委託管理, 街区公園以外の公園は外部委託を行っています。
- ・福山市内の企業や団体がボランティア活動として公園施設の塗装, 公園清掃などの申し出があります。



## 福山市における企業によるボランティア例

### ○日本塗装工業会広島県支部のボランティア塗装

年1回ペースで県東部の公園遊具等を塗装  
 ※2021年度は11/16に実施

### ○地元企業数社によるボランティア塗装

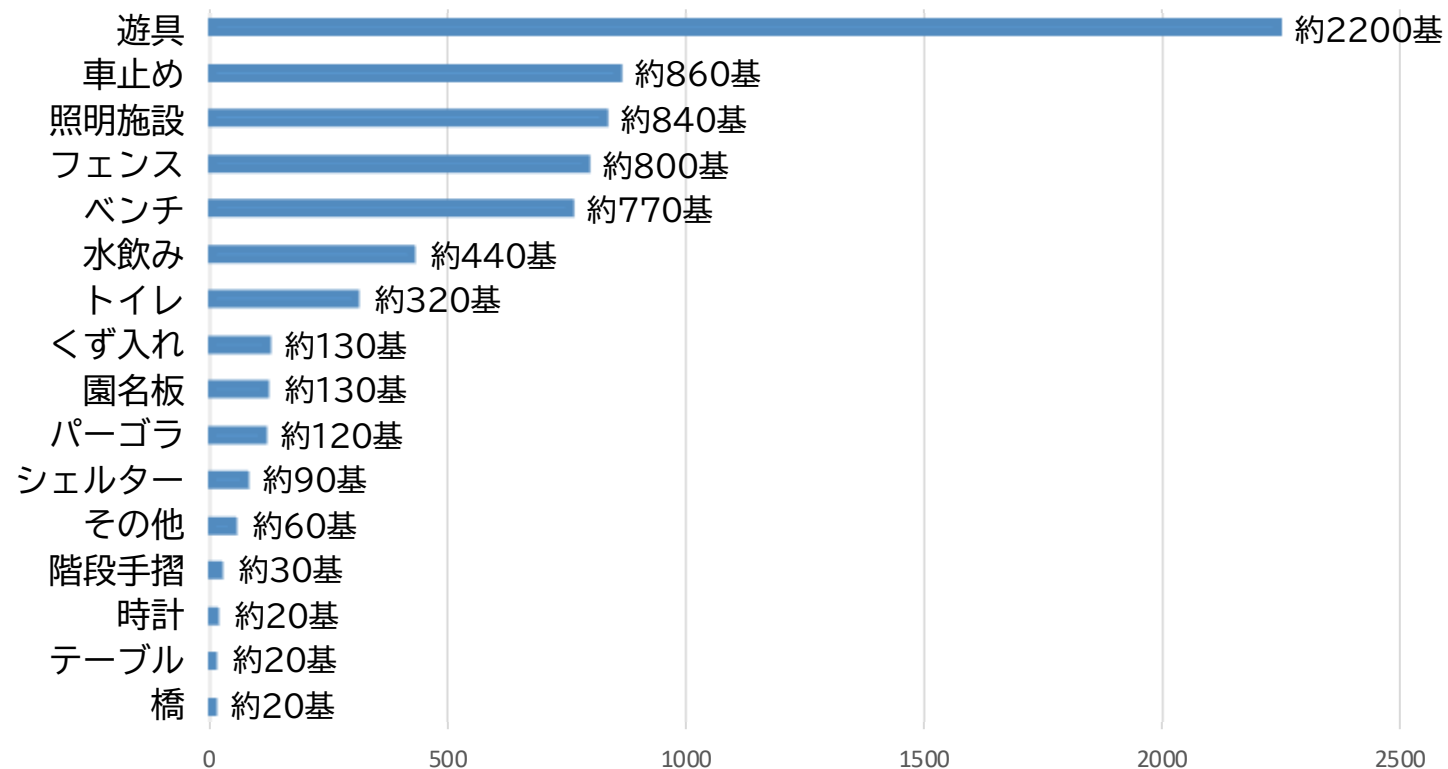
- ・2021年9月に富谷公園のトイレやパーゴラの塗装等を実施
- ・2021年12月には, 富谷公園のドーム洗浄を実施予定



# 公園施設の状況

・公園施設の全体数は約6,900基そのうち遊具が約2,200基

公園施設数の内訳



遊具



車止め



照明



ベンチ



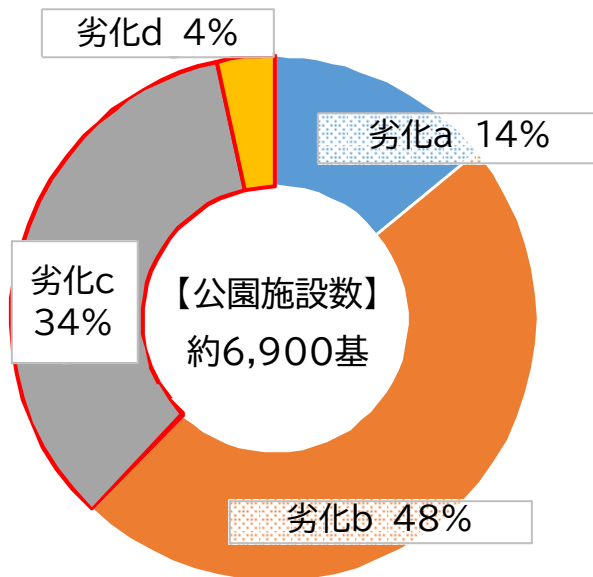
パーゴラ



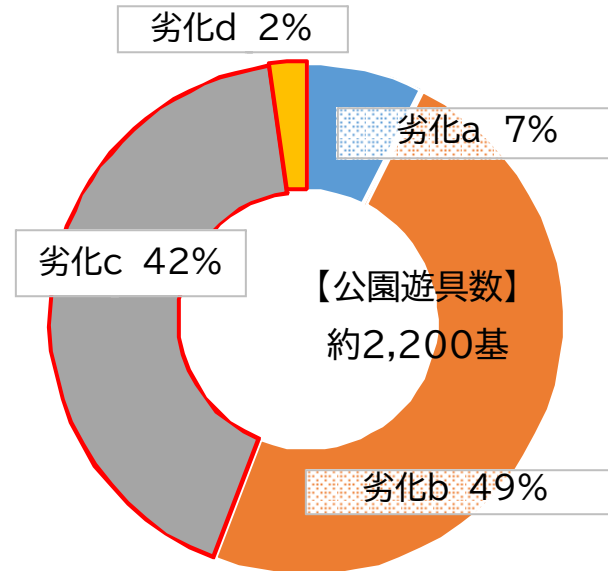
# 公園施設の劣化状況

- ・公園施設全体では、約38パーセントにあたる2600基が劣化判定c・dに該当し、修繕が必要
- ・公園遊具では、約44パーセントにあたる1000基が劣化c・dに該当し、修繕が必要

施設全体の劣化状況



遊具の劣化状況



劣化判定

- a : 健全な状態
- b : 軽微な劣化がある状態
- c : 修繕の必要な劣化がある状態
- d : 緊急修繕が必要な劣化がある状態

使用禁止



【老朽化施設の対応について】

- ・老朽化による施設の破損については、修繕等の対応を行っています。
- ・耐用年数が過ぎた公園施設については、2021（R3）年度「第二期福山市公園施設長寿命化計画」に基づき、老朽化した施設の計画的な改修・更新に取り組んでいます。

2023年3月末現在





# 公園の柔軟な利活用の状況

■福山市では公園の管理運営に民間活力を導入し、管理費の抑制を図りつつ、より質の高いサービスを提供する取り組みを推進しています。

## 事例① 中央公園(霞町)

福山駅周辺のにぎわい創出や回遊性向上の手段として、Park-PFIを中四国エリアで初導入。民間事業者によって、公園内にガーデンレストランや休憩スペースとなるあずまやなどを新設しました。また、定例イベントを開催し、市民が集う憩いの場となっており、イベント等での公園使用料を維持管理費に充てています。



## 事例③ 春日池公園(春日町)

春日池公園において、より質の高いサービスを提供しつつ、都市・地域課題の解決やエリア価値の向上に繋がる民間活力の導入に向けた取組を実施中。2023(R5)年度は、計6回のワークショップを開催し、公園のビジョンを作成する予定



ワークショップの様子



## 事例② 家廻公園(内海町)

内海町の地域住民(やまわり公園草刈クラブ)が主体となって、福山市立大学根本研究室と連携し、花壇の整備やトイレの改修、ベンチの設置などを進めて地域に長く愛される新たな公園へと生まれ変わらせています。



## 事例④ 芦田川緑地かわまち広場(千代田町)

行政、地域住民、民間事業者、団体等が一体の組織である千代田地区かわまちづくり官民連携プラットフォームを設立し、都市・地域経営課題の解決及び賑わいの創出や居心地のよい空間づくりといったエリアの魅力向上に寄与する事業を行っています。

青空ヨガ体験



スケボーショップ短期出店 × WS



### 3. 公園の問題点について

問題点① 利用が少ない公園があり、公園のポテンシャルを活かせていない

問題点② 施設の老朽化が進んでいる

問題点③ 日陰や休憩施設などの便益施設が不足している

問題点④ 障がい者や高齢者のための施設整備が不十分である

問題点⑤ 公園のマナー違反が増えている

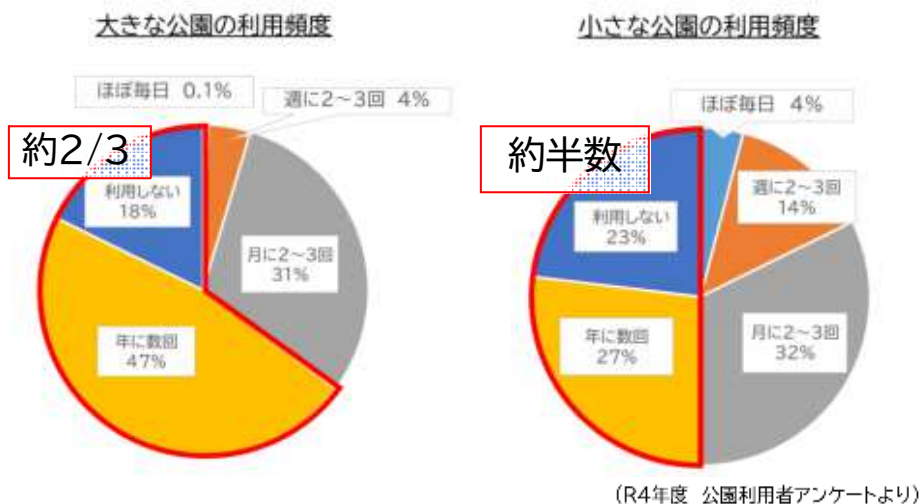
問題点⑥ 公園の禁止事項が多く、利用者のニーズに答えられていない

問題点⑦ 公園の管理の担い手が不足している

# 公園の問題点

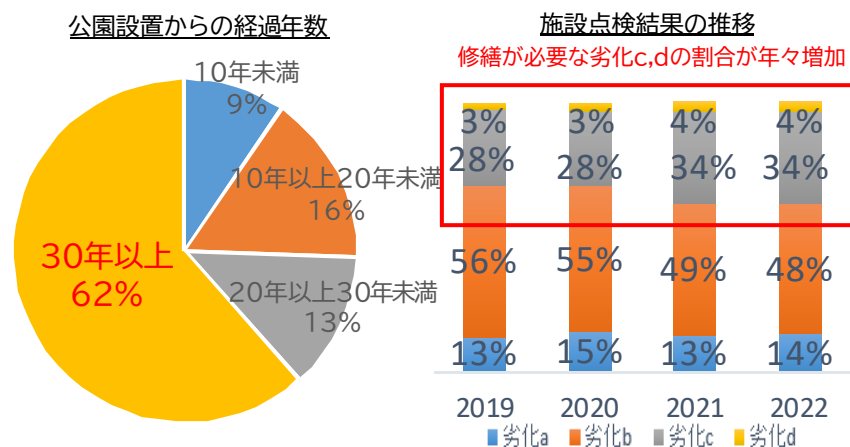
## 問題点① 利用が少ない公園があり、公園のポテンシャルを活かせていない

- ・アンケート結果では、大きな公園で約2/3、小さな公園で約半数の人が年数回の利用または、利用していないと回答
- ・街区公園の多くは、どこも同じような遊具が設置されている

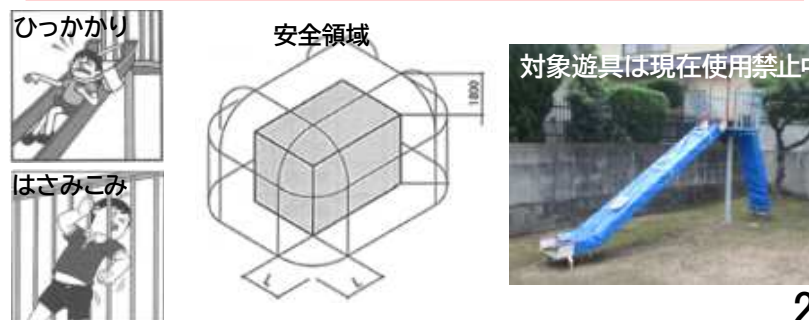


## 問題点② 施設の老朽化が進んでいる

- ・公園の約6割が設置から30年以上経過し、公園施設の老朽化が進んでいる(古い遊具は安全基準を満足していない)
- ・公園施設の修繕や更新の対応を行っているが、劣化cdの割合は、増加傾向



**公園遊具安全遊具対策事業**  
安全基準(構造・安全領域)を満たしていない遊具(ハザード3遊具)約200基を今年度中に撤去したうえで、来年度から地域の意見を聞きながら、遊具の再設置を行っていきます。



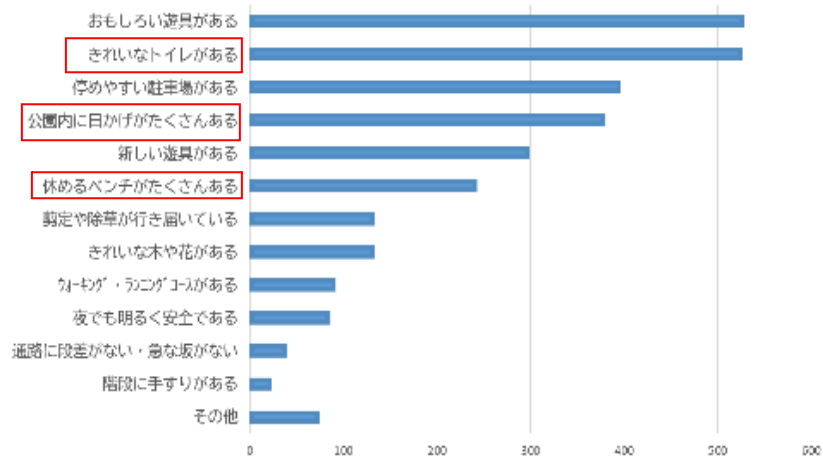


# 公園の問題点

## 問題点③ 日陰や休憩施設などの便益施設が不足している

- ・アンケートでは、トイレや日かげ施設、ベンチなどのニーズが高い
- ・子育て世代へのヒアリングにおいても、居心地がよくないと、滞在時間が短くなるとの意見がある(特に暑い時期)

公園がどのようになれば利用が増えますか？

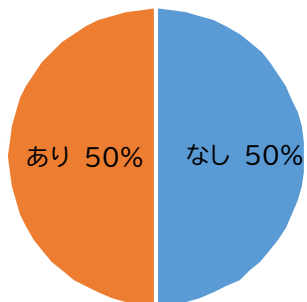


## 問題点④ 障がい者や高齢者のための施設整備が不十分である

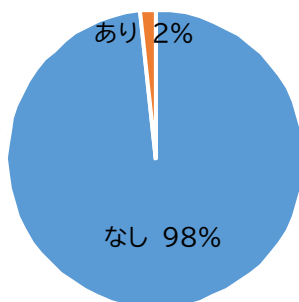
- ・バリアフリートイレの設置率は、街区以外の大きな公園で約50%、街区公園は約2%(機能が十分でないトイレもある)
- ・障がいのある子どもが遊べるインクルーシブ遊具や高齢者に人気のある健康器具の設置率が低い

バリアフリートイレがある公園の割合

街区以外の公園

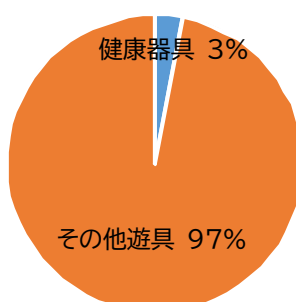


街区公園



健康器具の割合

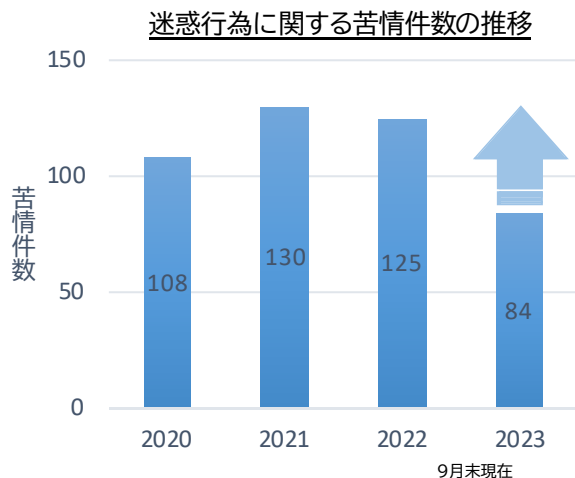
全国平均 約8%



# 公園の問題点

## 問題点⑤ 公園のマナー違反が増加している

・ごみの投棄やスケボーなどの迷惑行為や喫煙、ペットの散歩などによる公園利用者間のトラブルが増えている



## 問題点⑥ 公園の禁止事項が多く、利用者のニーズに答えられていない

・公園に禁止事項が多い



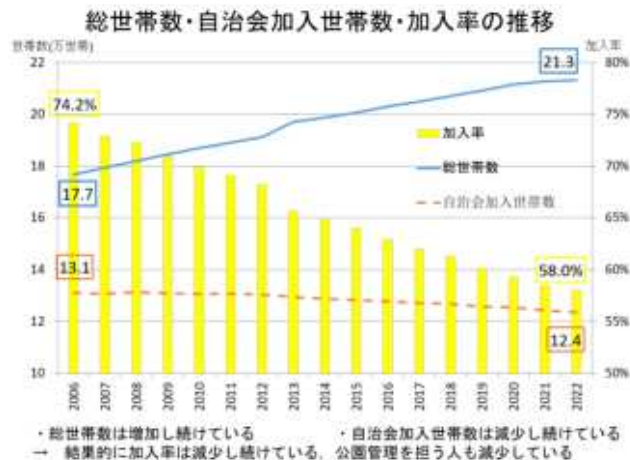
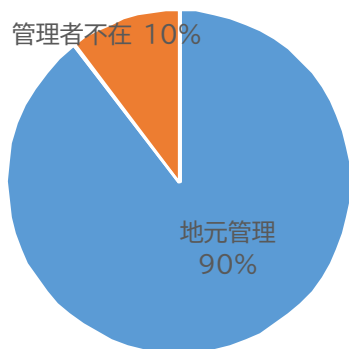


# 公園の問題点

## 問題点⑦ 管理の担い手が不足している

- ・高齢化や若い世代の自治会離れなどにより、地域で公園を管理することが難しくなっている
- ・1,000㎡未満の小さな公園が都市公園全体の約半数ある

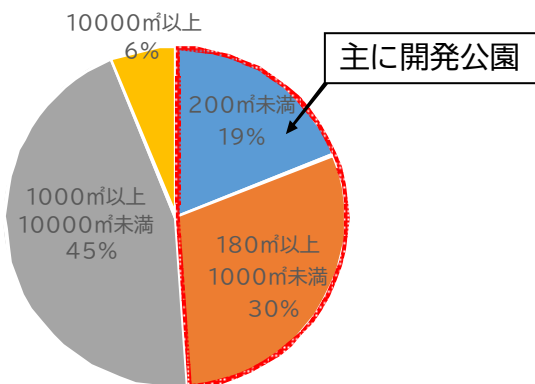
街区公園の管理状況



維持管理が出来ていない公園



都市公園の面積別箇所数の割合



## いわゆる「開発公園」とは？



一定面積以上の宅地造成などの開発行為を行う際に、法律などで設置が義務付けられている公園のこと

- ・開発業者が設置して、市に提供するケースが多い
- ・広さは150㎡くらいのミニ公園となる場合が多い



この公園の面積も150㎡です